

日本JC交流委員会がお送りする 出向者応援新聞

「Liaison (リエゾン)」とは、ある地点や音をつなぐもの、またつなぐことによって新たに生まれるものを意味する仏語。横浜JCと出向者をつなぐ新聞という意味で名付けました。

Liaison

【リエゾン】

国際社会が抱える課題解決に向け 民間ができる運動を広く発信

出向者応援企画
Vol.4

公益社団法人日本青年会議所 国際グループ グローバルコミュニケーション確立会議

社団法人横浜青年会議所から出向しているメンバーを紹介し、応援する当企画。今回は公益社団法人日本青年会議所国際グループ「グローバルコミュニケーション確立会議」をご紹介します。

「20か国」。この数字を皆さんご存知ですか？

これは昨年の東日本大震災時にアフリカエリアから支援を頂いた国の数です。みなさんはこれをどう感じますか？ これらの中には世界最貧国の一つであるマリをはじめとするGDPにおいては日本よりはるかに貧しい国連ミレニアム開発目標対象の国々がほとんどです。なぜこのような国々からも日本は支援を頂けたのでしょうか？ それは日本が今までに行なってきた数多くの国際貢献、国際協力の基礎があり、世界中の仲間たちと強い絆で結ばれているからに他なりません。私たちは国際社会の一員であることを自覚し、国連ミレニアム開発目標(UN MDGs)を含めた国際社会が抱える課題を解決するための運動を多くの国民に広げ、恒久的世界平和の実現に向けた意識を醸成する必要があります。

本年度グローバルコミュニケーション確立会議では、MDGs達成に向け意識の向上を図り民間レベルまで広げるために小学生を対象とした「MDGs認知向上プログラム」の推進を全国で行う

とともに、サマーコンファレンスにて国際貢献、国際協力を身近に感じて頂くことをテーマにしたフォーラムを開催致します。

それと同時に公益社団法人日本青年会議所において本年度唯一の「LOM重点依頼事項」でありますJCI Nothing But Netsキャンペーンを全国のLOMと各地で推進しております。自動販売機での募金、さらには今年からの試みでありますJust Giving Japan (WEB基金、また、LOMの皆様からの大切な募金により、マラリア感染の脅威からアフリカの人びとの命を助ける運動を実施しております。

そして、7月25日〜27日の期間にニューヨークにて行われるJCIグローバルパートナーシップサミットに参加することによって、JCIが国連を通して行う世界平和に向けた国際貢献事業の現状を把握し意識の向上を図ります。同時に、次世代の民間外交を進めて行く未来志向な担い手の育成のためにJCI Japan 少年少女国連大使をニューヨークで開催し、日本の子供たちが世界の現状や問題点を学びこれからの

世界について学び、活動の土台を育成する事業を行います。

また、私たちがJCIと協力して取り組む運動を知っていただくために、国連と連携してきた活動の発表を、全国大会にてフォーラムを開催致します。

国際協力は決して遠いものではありません。当会議体が行っている事業を通して実現できる身近なものです。「世界は一つ」。昨年の震災を受けて皆さんはこのことを感じたと思います。世界の貧しさ、不幸を少しでも減らすために国際貢献し「二つの世界」でみんなが笑って暮らせるようになるために今後も活動して参ります。



Jaycee 山柳

移動距離
世界めぐって
はや5周

稲葉崇浩

アフリカの
子供を思い
ジュース飲む

荒井敬之

稲葉議長
マイルで家を
建てるあひの

櫻井正明

蚊帳の夜
救える命
アフリカに

下山 漣

もう飽きた
口説き文句の
「想い出づへ」

宇山和成

海外に
行かなければ
グローバル

阿部哲也

サマコンで
知ることで
国際協力

吉永将也

自販機を
設置するだけ
で人助け

星野信一

グローバル、
ドメスティック
関係ないぜ
人間たもの

實方秀人

国連と
世界を舞台に
ひとづくり

三品智史

北九州全国大会 ばんちょー便り

開催まで 1000 日あまりとなった第 61 回全国大会北九州大会。今回は大会の舞台となる北九州市について少し紹介します。

北九州市は 1963 年に五つの市が対等合併し、東京・大阪・名古屋・京都・横浜・神戸に続く第 7 の人口百万都市となったビッグシティ。古くから石炭、鉄鋼などの重化学工業で栄え、

特に戦後は高度経済成長を支えた街でもありました。

ところが繁栄の陰で公害問題が顕在化。'60 年代後半～'70 年代前半にかけて大気汚染が深刻化し、降下ばいじん日本一、という不名誉な記録まで残してしまいました。

そこで 70 年代中盤以降、行政と企業は環境と工業の発展を両立する都市へと方向転換。取り

組みは見事に成功し、かつての青い空を取り戻すことができたのです。1987 年には環境モデル都市にも指定されました。

そうした改革の原動力となったのは、ひとりひとりの市民が公共のために尽くそう、という「公の精神」。公害や経済衰退との厳しい戦いの中で、市民の心に独特の精神性が培われたのでした。(次号につづく…)

た、人種、国籍の壁を超えた交流の場も設けられている。我々横浜青年会議所からも、80 名以上のメンバーが参加。近年の ASPAC の中では、かなりの参加人数である。

具志堅委員長率いる JCI 交流委員会が、4 度の現地調査を重ね、我々をアテンド。9 日の土曜日に開かれ



として出向している稲葉崇浩君も駆けつけ、挨拶した。

同日 21 時から L ホテルにてジャパンナイトを開催。井川会頭の挨拶からスタートし、日本から来た多くの LOM の出店ブースが並び、外国人で賑わった。横浜青年会議所 (JCI 交流委員会) で

は、「彩り」のフェイスペンティングと、かき氷が提供され、行列ができる人気であった。

会議 3 日目の総会では、日本が世界に向けて礼を尽くす場がもたれた。東日本大震災以降の海外支援に対して、OMOYARI ネットワーク委員会の藤田委員長が感謝の意を表明。Operation hope の VTR に続き、エジソン・A・コダマ事務総長、稲葉議長ら日本 JCI 役員が舞台に一緒に並び、深々と頭を下げた。このことは多くの参加者の胸をうち、次々に立ち上がり、復興に力を注ぐ日本国民にむけて、称賛と応援の温かい拍手が贈られ、会場を包みこんだ。

今回の国際大会は、11 月に開催される世界会議台北大会。こちらも是非参加し、JCI 交流委員会メンバーと出向者の活躍を見に行こう。

(文/森松長治・小林慶子)

ASPAC 香港大会に横浜から 80 名以上が参加

6 月 7 日～10 日、香港の地で ASPAC が開催された。ASPAC とは、アジア・オセアニアエリアの各国青年会議所会員が集まる会議。毎年開催地を変え、諸問題についての解決策や、具体的方策についての討議が行われている。ま

た LOM ランチオンは、香港の繁華街 尖沙咀 (チムサアチヨイ) にある高級広東料理「王子飯店」で行われ、おいしい料理とお酒で楽しい時間を共有することができた。グローバルコミュニケーション確立会議・議長

友好 J C 共同事業 被災地支援・視察スタディーツアー開催!

来る 7 月 7 日 (土)～8 日 (日)、「友好 J C 共同事業被災地支援・視察スタディーツアー」を開催します。

この事業は (社) 横浜青年会議所と (一社) 神戸青年会議所が共に立案し、(公社) 仙台青年会議所、(社) 気仙沼青年会議所、(社) 石巻青年会議所のご協力を得て実現した共同プロジェクト。LOM 間の交流を図りながら、被災地支援に繋がる仕組みを考えるツアーです。

J C メンバーの企業訪問などのプログラムを通して、視察先の人々とツアー参加者間で「顔の見える関係」を構築し、意見交換の場も設けます。今回の事業をモデルケースとし、以後全国各地の青年会議所からの参画により継続的な支援の輪を拡げるための新たな試みと致します。

さらに 4 月例会で町長にご講演いただいた、南三陸町役場仮庁舎を訪問し、町内のご案内をしていただくことになりました。

参加希望の方は、日本 J C 交流委員会・北野委員長まで大至急ご連絡を!

■ 友好 J C 共同事業被災地支援・視察スタディーツアー

- ・開催日時: 2012 年 7 月 7 日 (土)～8 日 (日) 1泊2日
- ・開催場所: 仙台駅発着宮城県各所 (気仙沼・南三陸・石巻・女川など)
- ・費用: ツアー代金: 27,000 円程度 (仙台駅発着)

バス代、宿泊代、保険代含

※上記に加え、仙台までの往復費用 (自己手配) が別途かかります。

■ 参加募集人数: 20 名程度

■ ツアースケジュール

7月7日(土)	
9:45	仙台空港 (神戸 JC バス乗車)
10:15	仙台駅集合・朝礼 (横浜 JC)
10:45	仙台駅出発
(車中開催挨拶、行程説明・自己紹介等)	
12:45	昼食 (道の駅かわさき格之進)
15:15	気仙沼着～(株)カネマ (気仙沼 J C 理事社経営) 訪問～市内視察
16:45	気仙沼発
18:15	南三陸ホテル観洋
18:45	グループディスカッション
20:30	夕食
21:45	交流懇親会
7月8日(日)	
7:00	起床朝食
8:00	おらほのラジオ体操 (ラジオ石巻取材)
8:30	ホテル出発
9:00	南三陸町役場 (講演及び町内視察)
11:00	さんさん商店街視察
11:30	南三陸町発
13:00	石巻着 (昼食未来郵便制作 (有) 飛翔閣)
14:30	女川着～(株)高政 (石巻 J C 監事経営) 訪問～女川視察
16:00	女川発 (車中閉会ご挨拶)
17:00	仙台駅到着 (横浜 JC 終礼・解散)
18:00	仙台空港 (神戸 JC 下車)